

令和 8 年度

事業計画並びに収入支出予算

シニアクラブ静岡県

〔一般財団法人 静岡県老人クラブ連合会〕

令和 8 年度 事業 計画

団塊の世代すべてが 75 歳以上の後期高齢者となる中で、現役世代の減少が著しく、社会・経済にとって大きな課題となっている。

地域で生活する私たち自身が幸せであるとともに、自らが培ってきた経験を社会全体の希望につなげ、誰もが住み慣れた地域で生きがいを持って暮らし、ともに支え合う地域共生社会の実現に貢献できるよう、シニアクラブ活動を推進していく。

第 54 回全国老人クラブ大会宣言

- 一．健康長寿を目指す「健康活動」の推進
- 一．暮らしを見守る「支え合い活動」の展開
- 一．高齢期を豊かにする「生きがい活動」の充実
- 一．あらゆる世代と連携した「地域貢献活動」の推進
- 一．すべての人々の尊厳が守られる「社会保障制度」の確立

◎ 令和 8 年度 全国メインテーマ

のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを

<健康寿命>

- 健康寿命をのぼし、自立した生活、生きがいある生活の実現を目指します。
- 仲間や地域の高齢者とともに継続的な健康活動に取り組みます。

<地域づくり>

- 他世代や関係団体と連携し、安全安心の住みよい地域づくりを目指します。
- 元気高齢者の知識・経験・活力を生かす場づくり、機会づくりを広げます。

◎ 令和 8 年度 シニアクラブ静岡県メインテーマ

楽しけりゃ何でもやっちゃおうヨ！

< 重点項目 >

1 地域共生社会の実現に向けた取組

I

高齢者が住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らす、また、全ての人が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らすことのできる地域共生社会の実現に向け、自治会など地域の諸団体と連携・協働し、以下の取組を促進（推進）する。

- (1) 高齢者の孤独・孤立を防ぐため、健康づくり活動や支え合い活動などの仲間づくり活動
- (2) 認知症の方やその家族の暮らしを支える見守り、声掛け、趣味活動への誘いなどの友愛活動
- (3) 関係団体と連携した生活課題・地域課題の解消に向けた活動
- (4) 令和8年6月24日、25日の両日、本県が主催者の一翼を担い開催する関東甲信越静ブロック老人クラブリーダー研修会の盛会に向けた取組

2 持続可能なシニアクラブに向けた会員増強運動の推進

II

近年、解散・休会によるクラブ未設置地区の増加や会員の減少に伴う活力の低下、会費収入の減少など、近い将来には、クラブ活動の存続すら危惧される事態ともなっている。

会員一人ひとりが楽しみながら参加しているクラブ活動を積極的に発信し、これ以上仲間を減らさないという強い信念の下、県・市町連合会、単位クラブ、会員が一丸となって、令和6年度に再スタートした会員増強運動を推進していく。

また、広域クラブの設置など新たな動向に関しては、全国老人クラブ連合会での検討状況の確認等、情報収取・提供に努める。

3 健康づくり・生活支援活動の推進

III

健康長寿の実現のためには、高齢者自らが健康づくりや支え合い活動に関心を寄せ、自分自身が楽しみながら仲間と共に実践していくことが極めて大切です。

単位クラブにおけるフレイル予防活動や友愛活動を基盤とした幅広い生活支援活動等、これまでの活動の実績を踏まえ、健康づくり・生活支援活動のすそ野が広がるよう支援していく。

4 交通安全対策の推進と高齢消費者被害の撲滅

IV

令和8年4月から自転車の交通違反に対し、交通反則通告制度（青切符）が導入される。

このため、交通安全講座の開催、運転免許証自主返納制度の周知などに加え、新たな制度の理解を促し、高齢者交通安全運動の徹底を図る。

また、被害が60歳代以上や女性に集中している振り込め詐欺等特殊詐欺について、引続き被害防止に資する研修会や情報提供等の充実・強化を図る。

【主要事業】

1 健康増進活動

1,602 千円

(1) 高齢者いきいき創造広場開催事業（Ⅲ） 0 千円

日頃からシニアクラブ活動の中で取り組む芸能、文化活動等の成果を発表することにより、広く県民とのふれあいを深めるとともに、高齢者の生き甲斐づくり、社会参加を促進する。

今年度は、本県が主催者の一翼を担い掛川市で開催する「関東甲信越静ブロック老人クラブリーダー研修会」に注力するため休止する。

(2) 健康づくり支援事業（Ⅲ） 552 千円

高齢者の健康づくりを推進するため、「レクリエーションダンス」や「健康ウォーキング(ノルディックウォーク)」普及講座の開催等、地域性に応じた健康づくり活動を推進する。

(3) シニアスポーツ普及推進事業（Ⅲ） 1,050 千円

高齢者スポーツの普及を進めるため、「県グラウンド・ゴルフ大会」及び「県輪投げ大会」を開催する。

ア 県グラウンド・ゴルフ大会

令和8年10月20日(火)

【会場】島田市川越広場 島田市グラウンド・ゴルフ場

イ 県輪投げ大会

令和8年12月4日(金)

【会場】焼津市総合体育館「シーガルドーム」

2 友愛・奉仕促進活動

3,291 千円

(1) 地域支え合い推進事業（Ⅰ、Ⅱ） 1,339 千円

市町連合会と連携して、シニアクラブの仲間づくりを通じた高齢者の相互支援活動の充実や安全・安心ネットワークの構築等の地域支え合いに資する各種取組を行う。

また、「地域の絆」推進運動や友愛活動等高齢者の地域支え合い活動に係る普及・啓発を推進する。

(2) ふじさんっこ応援隊推進事業（Ⅰ） 1,952 千円

静岡県が提唱する「ふじさんっこ応援隊」活動に積極的に参画し、高齢者の持つ豊富な知識と経験を生かした「子どもの見守り」、「子どもとの交流活動」等の地域の子育て支援活動、世代交流事業を行う。

3 地域福祉等研修活動

5,543 千円

- (1) **地域福祉人材養成事業（Ⅱ）** 803 千円
シニアクラブ活動を活性化し、組織の強化を推進する人材を養成するため、新任会長や女性リーダーを対象とした研修会等を開催する。
- (2) **全国連合会研修会等参加事業（Ⅱ）** 1,903 千円
全国老人クラブ連合会や関東甲信越静ブロック老人クラブ連絡協議会が主催する各種の研修事業や会議等への参加により研鑽を深め、情報を収集することにより、リーダー養成や組織強化を図る。
- (3) **関東甲信越静ブロック老人クラブリーダー研修会の開催（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）** 1,400 千円
日程：令和8年6月24日（水）～25日（木）
場所：つま恋リゾート彩の郷（掛川市）
内容：基調報告、パネルディスカッション、文化教養講座
- (4) **介護保険利用者意識事前啓発事業（Ⅰ、Ⅲ）** 1,437 千円
介護保険制度の適正利用やフレイル予防を図るため、単位クラブの会長など地域のリーダーを対象とした研修会や広報誌等を活用した啓発などを行う。

4 仲間づくり推進活動

5,575 千円

- (1) **活動推進相談員活動費助成事業（Ⅱ、Ⅳ）** 1,800 千円
単位クラブの運営全般にわたる相談指導活動を推進するため、市町連合会に設置されたクラブ活動推進相談員の活動費を助成する。
- (2) **クラブ解散・休会等再興支援事業（Ⅱ）** 826 千円
クラブの解散・休会の阻止やクラブ未組織地域の組織化を進めるため、市町連合会に設置されたクラブ活動推進相談員や解散・休会の状態にあるクラブ等の支援のための活動費を助成する。
- (3) **若手高齢者組織化・活動推進事業（Ⅱ、Ⅲ）** 713 千円
会員の減少、高齢化が進むクラブ組織を活性化するため、ニュースポーツ等を通じて入会を促進する若手委員会の活動を推進する。
- (4) **地域クラブ活性化事業（Ⅱ、Ⅲ）** 2,236 千円
単位クラブ等の基盤強化に向けた取組や健康づくり（介護予防）活動を促進すると共に、活動功労者や優良クラブ等の表彰を行う。

また、誰もが取り組みやすいeスポーツの体験の機会を提供する。

5 高齢者住宅整備貸付金管理

0 千円

静岡県の委託を受けて行ってきた高齢者住宅整備資金の償還管理事務は、令和7年度をもって県に返還した。

6 連絡調整活動

8,925 千円

(1) 県連活動推進員活動事業

8,925 千円

県連合会に活動推進員を設置し、市町連合会、単位クラブの活動を促進するための研修会や育成指導のほか様々な事業を行う。

7 広報活動

672 千円

(1) 広報活動事業（Ⅱ）

672 千円

会員加入の促進とクラブ活動の活性化を図るため、広報誌の発行、ホームページの運営等により、クラブ活動を広く県民に紹介する。

8 物資等幹旋活動

739 千円

(1) 物資等幹旋活動事業（Ⅱ、Ⅲ）

739 千円

単位クラブ用の会計帳票類や愛唱歌集、輪投げ用具等の幹旋及び広告協賛事業等を行い、クラブ活動の活性化と組織基盤の強化を図る。

【組織運営】

- | | |
|-------------|-------------------|
| (1) 理事会 | 年3回（5、8、3月） |
| (2) 評議員会 | 年2回（6、3月） |
| (3) 監事会 | 年1回（5月） |
| (4) 表彰審査委員会 | 年1回（8月 理事会に併せて開催） |
| (5) 正副会長会議 | 随時 |
| (6) 女性委員会 | 随時（定例総会 5月） |
| (7) 若手委員会 | 随時（定例総会 5月） |

令和 8 年度収入支出予算総括表

(単位：千円)

区 分		収 入	支 出	差 引
実施事業会計	本年度	20,539	24,619	△ 4,080
	前年度	19,586	25,916	△ 6,330
	増 減	953	△ 1,297	2,250
その他事業会計	本年度	2,095	1,411	684
	前年度	2,800	2,500	300
	増 減	△ 705	△ 1,089	384
法 人 会 計	本年度	35,097	31,537	3,560
	前年度	—	—	—
	増 減	—	—	—
3 会 計 計	本年度	57,731	57,567	164
	前年度	33,626	33,217	409
	増 減	24,105	24,350	△ 245
予 備 費	本年度	—	164	—
	前年度	—	200	—
	増 減		△ 36	—
合 計	本年度	57,731	57,731	0
	前年度	33,626	33,417	209
	増 減	24,105	24,314	△ 209
前期繰越収支差額	本年度	12,516		12,516
	前年度	11,863		11,863
	増 減	653		653
次期繰越収支差額	本年度	12,516		12,516
	前年度	12,072		12,072
	増 減	444		444

注：破線で囲んだ部分は参考表記（「合計」欄には含まない）。

令和 8 年度収入支出予算総括表

(単位：千円)

区 分		本年度 (8 年度)	前年度 (7 年度)	増減
実施事業会計	収入	20,539	19,586	953
	支出	24,619	25,916	△ 1,297
	差引	△ 4,080	△ 6,330	2,250
その他事業会計	収入	2,095	2,800	△ 705
	支出	1,411	2,500	△ 1,089
	差引	684	300	384
法 人 会 計	収入	35,097	11,240	23,857
	支出	31,537	—	—
	差引	3,560	—	—
3 会 計 計	収入	57,731	33,626	24,105
	支出	57,567	33,217	24,350
	差引	164	409	△ 245
予 備 費	収入	—	—	—
	支出	164	200	△ 36
	差引	△ 164	△ 200	36
合 計	収入	57,731	33,626	24,105
	支出	57,731	33,417	24,314
	差引	0	209	△ 209
前期繰越収支差額		12,725	12,516	209
次期繰越収支差額		12,725	12,725	0

注 1) 「前年度」の破線部分は、昨年度参考値として示された数値である。

注 2) 「前年度」の法人会計の支出は、明示されていない。

注 3) 「前年度」の「前期繰越収支差額」は、6 年度決算書の「次期繰越収支差額」である。

令和 8 年度収入支出予算

(令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日)

(単位:千円)

会 計 ・ 事 業 科 目	本年度 (当初)	前年度 (当初)	増減	備考
「実施事業会計」				
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入 計	20,539	19,586	953	
(1) 県受託金収入	3,389	3,836	△ 447	
① 介護保険利用者意識事前啓発事業受託金	1,437	1,438	△ 1	
② ふじさんっこ応援隊推進事業受託金	1,952	1,968	△ 16	
③ 高齢者住宅整備資金償還事務受託金	0	430	△ 430	受託返還
(2) 県補助金収入	9,328	9,328	0	
① 健康づくり支援事業補助金	0	900	△ 900	
② 地域支え合い事業補助金	0	2,450	△ 2,450	
③ 若手高齢者組織化・活動支援事業補助金	403	700	△ 297	
④ 老人クラブ等活動推進事業補助金	8,925	5,278	3,647	
(3) 県助成金収入	6,722	6,422	300	
① 民間団体育成強化事業	2,598	4,322	△ 1,724	
② 地域福祉促進事業	3,824	2,100	1,724	
③ ブロックリーダー研修会交付金	300	0	300	リーダー研修会
(4) 雑収入	1,100	0	1,100	リーダー研修会
① 雑収入	0	0	0	
② ブロック協議会交付金	200	0	200	
③ ブロックリーダー研修会負担金	900	0	900	

(単位:千円)

会 計 ・ 事 業 科 目	本年度 (当初)	前年度 (当初)	増減	備考
2 事業活動支出 計	24,619	25,916	△ 1,297	
(1) 健康増進活動	1,602	3,850	△ 2,248	
① 高齢者いきいき創造広場開催事業費	0	1,600	△ 1,600	休止
② 健康づくり支援事業費	552	900	△ 348	
③ シニアスポーツ普及推進事業費	1,050	1,350	△ 300	
(2) 友愛・奉仕促進活動	3,291	4,418	△ 1,127	
① 地域支え合い推進事業費	1,339	2,450	△ 1,111	
② ふじさんっこ応援隊推進事業費	1,952	1,968	△ 16	
(3) 地域福祉等研修活動	5,543	4,838	705	
① 地域福祉人材養成事業費	803	2,200	△ 1,397	
② 全国連合会研修会等参加事業費	1,903	1,200	703	
③ ブロックリーダー研修会開催費	1,400	0	1,400	リーダー研修会
④ 介護保険利用者意識事前啓発事業費	1,437	1,438	△ 1	
(4) 仲間づくり推進活動	5,575	5,800	△ 225	
① 活動推進相談員活動費助成事業費	1,800	1,800	0	
② クラブ解散・休会等再興支援事業費	826	1,500	△ 674	
③ 若手高齢者組織化・活動推進事業費	713	700	13	
④ 地域クラブ活性化事業費	2,236	1,800	436	
(5) 高齢者住宅整備貸付金管理事業	0	430	△ 430	受託返還
管理事務受託事業費	0	430	△ 430	
(6) 連絡調整活動	8,608	6,580	2,028	
県連活動推進員活動事業費	8,608	6,580	2,028	
「実施事業会計」合計収支差額	△ 4,080	△ 6,330	2,250	

注) 「前年度」の破線部分は、昨年度参考値として示された数値である。

(単位:千円)

会 計 ・ 事 業 科 目	本年度 (当初)	前年度 (当初)	増減	備考
「その他事業会計」				
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入 計	2,095	2,800	△ 705	
(1) 広報活動事業収入	1,204	1,700	△ 496	
広報活動収入	1,204	1,700	△ 496	
(2) 物資等斡旋活動事業収入	891	1,100	△ 209	
物資等斡旋活動収入	891	1,100	△ 209	
(3) 雑収益	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
2 事業活動支出 計	1,411	2,500	△ 1,089	
(1) 広報活動事業費	672	1,800	△ 1,128	
広報活動事業費	672	1,800	△ 1,128	ホームページ 改修終了
(2) 物資等斡旋活動事業費	739	700	39	
物資等斡旋活動事業費	739	700	39	
「その他事業会計」合計収支差額	684	300	384	

注) 「前年度」の破線部分は、昨年度参考値として示された数値である。

(単位:千円)

会 計 ・ 事 業 科 目	本年度 (当初)	前年度 (当初)	増減	備考
「法人会計」				
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入 計	10,840	11,240	△ 400	
(1) 基本財産運用収入	160	60	100	
基本財産利息	160	60	100	利息増
(2) 分担金収入	6,300	6,800	△ 500	
市町連合会分担金	6,300	6,800	△ 500	会員の減少
(3) 県助成金収入	4,380	4,380	0	
民間社会福祉団体等運営費助成金	4,380	4,380	0	
(4) 寄附金収入	0	0	0	
寄附金収入	0	0	0	
(5) 雑収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
2 事業活動支出(管理費) 計	6,963	-	-	
(1) 役員報酬	4,851	-	-	
(2) 福利厚生費	758	-	-	
(3) 会議費	540	-	-	
(4) 旅費交通費	46	-	-	
(5) 通信運搬費	79	-	-	
(6) 消耗品費	33	-	-	
(7) 印刷製本費	62	-	-	
(8) 使用料賃借料	81	-	-	
(9) 租税公課費	90	-	-	
(10) 支払負担金	224	-	-	
(11) 支払手数料	3	-	-	
(12) 委託費	190	-	-	
(13) 雑費	6	-	-	
I 事業活動収支差額	3,877	-	-	

注)「2事業活動支出(管理費)」の破線で囲んだ前年度部分は、明示されていない。

(単位:千円)

会 計 ・ 事 業 科 目	本年度 (当初)	前年度 (当初)	増減	備考
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入 計	24,257	0	24,257	
(1)基本財産取崩収入	20,257	0	20,257	
① 定期預金取崩収入	20,257	0	20,257	
② 投資有価証券取崩収入	0	0	0	
(2)特定資産取崩収入	4,000	0	4,000	
① 退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	
② 退職積立金差益収入	0	0	0	
③ 運転資金積立金取崩収入	4,000	0	4,000	
2 投資活動支出 計	24,574	222	24,352	
(1) 基本財産取得支出	20,257	0	20,257	
① 定期預金取得支出	10,257	0	10,257	
② 投資有価証券取得支出	10,000	0	10,000	
(2) 特定資産取得支出	4,317	222	4,095	
① 退職給付引当資産取得支出	317	222	95	
② 退職積立金差損支出	0	0	0	
③ 運転資金積立金取得支出	4,000	0	4,000	
II 投 資 活 動 収 支 差 額	△ 317	△ 222	△ 95	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入 計	0	0	0	
2 財務活動支出 計	0	0	0	
III 財 務 活 動 収 支 差 額	0	0	0	
「法人会計」収入合計	35,097	-	-	
「法人会計」支出合計	31,537	-	-	
「法人会計」合計収支差額	3,560	-	-	

注)破線で囲んだ部分は、前年度部分は明示されていない。

(単位:千円)

会 計 ・ 事 業 科 目	本年度 (当初)	前年度 (当初)	増減	備考
【全 体】 3会計 総計				
3会計 収入総計	57,731	33,626	24,105	
3会計 支出総計	57,567	33,217	24,350	
3会計 総計収支差額	164	409	△ 245	
予 備 費	164	200	△ 36	
当 期 収 支 差 額	0	209	△ 209	
前 期 繰 越 収 支 差 額	12,725	12,516	209	
次 期 繰 越 収 支 差 額	12,725	12,725	0	

注)「前年度」の「前期繰越収支差額」は、令和6年度決算書の「次期繰越収支差額」である。

